第39回国際学生セミナー

東アジアを考える

期日：2012年11月24日（土）～25日（日）
場所：八王子セミナーハウス（東京都八王子市下柚木1987-1）

いま東アジアは少なくとも経済面では世界の中心の一つになり、日本・韓国・中国・台湾に生まれた人々は日常的往来が茶飯のことになっている。そこには、20世紀前半の歴史が遺した瑕も遺っているが、他方では史上初めて、人々が同じ「地域」に暮しているという実感とお互いへの関心を持ちだしてもいる。このセミナーでは、この「東アジア」という地域がどのようにして生まれ、今後どのような問題に直面するだろうか、これを長い歴史的な視野から共に考えてゆきたい。（国際学生セミナー企画委員長・三谷　博）

◆基調講演　「アジア」概念の誕生

東京大学大学院総合文化研究科教授　三谷　博

◆セクション演習

A　現代東アジアの経済相互依存関係

多摩大学経営情報学部教授　金　美徳

B　二つのユートピア：ロシア・イスラーム・東アジア

東京外国語大学大学院特任教授　小松　久男

C　東アジアにおける漢字文化の伝播と受容

早稲田大学文学学術院教授　李　成市

D　東アジアの環境史

立教大学文学部教授　上田　信

プログラム概要

第1日　11月24日（土）

13:00～	開会
13:10～14:30	基調講演
14:50～18:00	提題講演

第2日　11月25日（日）

9:30～11:30	セクション演習
13:00～14:50	パネルディスカション
15:00	閉会

主　催：公益財団法人　大学セミナーハウス

基調講演

「アジア」概念の誕生　東京大学大学院総合文化研究科教授　三谷　博

いま我々は日常的に「アジア」という言葉を使っているが、この言葉がどこを指し、またどのようにして使われるようになったのかを知る人は少ない。近年、東アジア各国の間の経済的・人的交流は飛躍的に密接になり、同時に相互依存と摩擦が常態となった。未来に良好な秩序を築くには、ここ「東アジア」で共に生きるという意識が大事だが、そのために「アジア」という言葉がどのようにして誕生したのか、歴史を反省してみよう。

セクション

A　現代東アジアの経済相互依存関係　多摩大学経営情報学部教授　金　美徳

21世紀は、まさしくアジア・ユーラシアダイナミズムの時代と言えよう。東アジアは、国際関係が緊張する反面、経済連携が拡大するという大きな政経矛盾を抱えながらも、新たな経済発展段階を迎えている。

このような東アジアの経済連携の本質的な実態について考察する。特に、日本・中国・韓国・ロシア・モンゴル・北朝鮮間の経済相互依存関係の実態に迫る。また、政経矛盾を解消し、経済連携をより一層深化させるアジア・グローバル人材像について議論する。

B　二つのユートピア：ロシア・イスラーム・東アジア

東京外国語大学大学院総合国際学研究院特任教授　小松　久男

中央アジアのムスリム（イスラーム教徒）は東アジアをどのように見ていたのだろうか。今回は、帝政ロシアの末期にイスラーム世界の復興と解放を構想した二人のタタール知識人の議論を紹介したい。ガスプリンスキー(1851-1914)とイブラヒム(1857-1944)、この二人はともにムスリム社会の未来をみすえながら異なったユートピアを構想し、その中に東アジアも重要な要素として現れる。二人の言説は現代世界と日本を相対化して考える上でも有効だろう。

C　東アジアにおける漢字文化の伝播と受容　早稲田大学文学学術院教授　李　成市

近年、朝鮮半島の各地から石碑や木簡が多数出土するようになり、それらの漢字文化が古代日本の漢字文化に酷似し時代的にも先行することから、両者の影響関係が注目されている。朝鮮半島における石碑や木簡などの出土資料の研究成果に基づいて、中国に由来する漢字文化が古代東アジア諸地域に、どのように伝播、受容されたのか、具体的に考えてみたい。

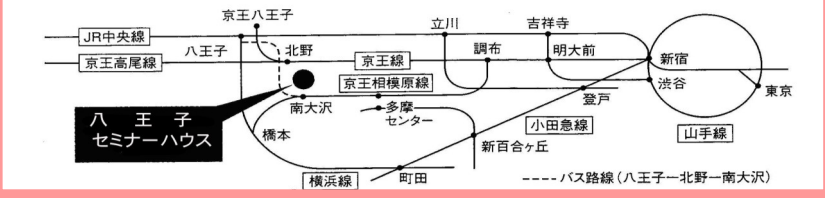
D　東アジアの環境史　立教大学文学部教授　上田　信

中国、朝鮮、日本は文化的に密接な関連があるものの、生態環境に対する感性には大きな違いがある。その差違は、生態環境の違いに由来するとともに、ものの考え方の違いにも根ざしている。同質性と異質性を、風水観およびトラという２つの視点から検討していきたい。

【募集要項】

募集人数：50名
参加資格：大学生・大学院生、留学生及び社会人
参加費：大学生・大学院生　8,000円(会員校学生は4,000円)
留学生　3,000円(富士ゼロックスからの助成金による)　社会人　10,000円
(宿泊・食事代、資料代、税を含みます。)
申込方法：ホームページ掲載の申込フォームにてお申込み下さい。
受付メールを返信しますが、1週間以内に連絡がない場合には、
お手数ですが下記までご連絡下さい。
申込締切日：11月16日(金)　定員に満たない場合は、引き続き受付けます。
問合せ先：公益財団法人大学セミナーハウス　セミナー・留学生グループ
〒192－0372　東京都八王子市下柚木1987-1
TEL:042-676-8532(直通)　FAX:042-676-1220
E-mail:seminar-g@seminarhouse.or.jp

◆詳細はホームページ(http://www.seminarhouse.or.jp/)をご覧下さい。



【国際学生セミナー企画委員会】

(企画委員長)
東京大学大学院総合文化研究科教授　三谷　博
多摩大学経営情報学部教授　金　美徳
東京外国語大学大学院総合国際学研究院特任教授　小松　久男
早稲田大学文学学術院教授　李　成市
立教大学文学部教授　上田　信

大学セミナーハウス本館は、大地にくさびを打ち込んだような、四角すいを逆さにした形をしています。(建築家・吉阪隆正の代表作品)
また、壁には大きな「目」がひとつついています。(写真左上)　こちらに来て発見してみませんか。

■このセミナーは、八王子学園都市大学(いちょう塾)にプログラムの一部を提供しています。八王子学園都市大学(いちょう塾)とは、「だれでもいつでも多様に学び豊かな文化を育むまち」を実現するため、八王子市と八王子地域23大学・短期大学・高等専門学校、企業及び市民の方との協働により、市民の皆さんが意欲をもって学ぶことのできる機会の場の提供を目的として開学した市民のための市民大学です。